

滋野一族

1. 滋野家

明治時代の華族宗族^{そうぞく}制度では、滋野氏は14類とされ、清和天皇の子である貞保親王の孫滋氏を祖としていると指摘されている。

皇別華族の宗族（明治2年 版籍奉還によって公家と大名は「華族」となった。）

【第14類、先祖：清和天皇皇子式部卿貞保親王孫滋^{えい}氏裔、氏姓：滋野朝臣】

（華族類別名鑑、Wikipedia）

2. 祢津家

【海野・望月・祢津の「滋野三家」を中心とした滋野一族。】

（信濃中世武家伝 4頁）

3. 祢津家の香坂家・春日家

① 【祢津家は春日・大塩・浦野・香坂氏らの庶子家を分出したことが系図から知られる。】（信濃中世武家伝 158頁）

② 【滋野氏三家（海野、根津、望月）以外の後裔として春日氏、香坂氏（高坂氏）の名がある。】（Wikipedia）

③ 【香坂氏は、信濃国の武家の氏族。高坂氏とも書く。東信濃の名族滋野氏で、滋野三家の一つ祢津氏の祢津宗直の五男貞行を祖とする。香坂は佐久郡香坂（現佐久市香坂）に由来する。】（Wikipedia）

④ 【信濃春日城（佐久市）の築城年代は定かではないが春日氏によって築かれたと云われる。春日氏は祢津系の春日貞親から始まったとされる。】
（城郭放浪記）

1. 両羽神社
東御市下之城宮屋敷 169-1
2. 東御市新張(みはり)20221230 の滋野神社
東御市新張 310
滋野良成
3. 東御市海善寺の滋野神社
東御市海善寺 1045
海野幸恒

海善寺(東御市) ➡ 海禅寺(上田) ➡ 開善寺(松代)

(川端紅葉著 2023・2・4)

渤海国

- 渤海国(698年～926)15代王
- 日本への第一回使節団(727年)
- 朝貢ちょうこう
- 延暦18年(799)に滋野宿祢船白(代)が国使見送りに随伴した
- 木島平村 千曲川で新潟とつながっている 東御市もつながっている
- キョンボク大学パクチョンス教授(木島平)「長野県における古代渡来文化」
- 国立中央博物館(ソウル)
- 大迹王おうほど(6世紀 継体天皇)越王国おおきみ(日本書紀)507年大王に迎えらる
- 五経博士(百済から)
- 韓国教員大学キム・ウンスク教授
- 東海(トンへ)
- 「三国遺事」(高麗の高僧一然)「三国史記」(金富軾)
- 蕃:ばん 語一語 通訳
- 寧安ねいあん(黒竜江省)渤海国
- 上京(都)東京城 上京竜泉府 海東盛国
- 靈光塔 初代王 大祚榮だいそえい るいじゅう(類聚国史:菅原道真編纂)
- 国立民俗博物館(ソウル)高句麗+靺鞨まっかつ(ツングース系)の壁画
- 東大早乙女雅博名誉教授(朝鮮考古学)
- 続日本紀しよくにほんぎ(藤原継縄ふじわらのつぐただ、菅野真道すがののまみち)
- 中央大学石井正敏名誉教授(日本古代史)
- 結援
- 藤原仲麻呂(706～764)新羅攻撃計画を立てる
- 秋田城
- 金沢学院大学小嶋芳孝名誉教授
- 「決して楽な航海のできる海ではない 嵐がある」(ロシア人船長)
- 歴史学研究所(10万点展示物)/博物館(ウラジオストク)
- 類聚三代格るいじゅうさんだいぎやく(平安の法令集 著者不明)

○菅原道真(漢詩) ^{かんけもんそう}菅家文草(道真編纂の全 12 巻の漢詩文集)

○渤海使(日本へ 34 回)

○クラスキノ遺跡(ウラジオストク郊外 壺に道隆/弘知の名 僧侶?)

○「新唐書」に「日本道」が書いてある 上京➡クラスキノ遺跡➡日本

○プキョン大学カン・インフク教授(クラスキノ遺跡発掘調査)

「NHK TV『日本と朝鮮半島 2000 年日本海の道 ～幻の王国・渤海との交流～』
20090830」(川端紅葉編)

75688(

卷十二 屬部列傳
卷十三 遺裔列傳
卷十四 地理考
卷十五 職官考
卷十六 族俗考
卷十七 食貨考
卷十八 文徵
卷十九 叢考
卷二十 餘錄

渤海國志長編卷一

總略上

遼陽金毓黻 撰集
渤海國志前編一

渤海靺鞨大祚榮者本高麗別種也高麗既滅祚榮率家屬徙居營州萬歲通天年契丹李盡忠反叛祚榮與靺鞨乞四比羽各領亡命東奔保阻以自固盡忠既死則天命右玉鈐衛大將軍李楷固率兵討其餘黨先破斬乞四比羽又度天門嶺以迫祚榮祚榮合高麗靺鞨之衆以拒楷固王師大敗楷固脫身而還屬契丹及奚盡降突厥道路阻絕則天不能討祚榮遂率其衆東保桂婁之故地據東牟山築城以居之祚榮驍勇善用兵靺鞨之衆及高麗餘燼稍稍歸之聖祿中自立爲振國王遣使通於突厥其地在營州之東二千里南與新羅相接越意靺鞨

(韓國國立中央博物館)

[_ 학예사자격증](#)

[_ e뮤지엄](#)

[_ 외규장각 의궤 원문](#)

[_ 이러닝](#)

[_ 박물관신문](#)

[_ 문화상품점](#)

[문화유산표준관리시스템](#)

[청년멘토](#)

[VCM 가상명품박물관](#)

[관련사이트 바로가기](#)



[소속박물관 바로가기](#)



[가이드북 다운로드](#)



[개인정보처리방침](#)

[이용약관](#)

[찾아오시는길](#)

04383 서울시 용산구 서빙고로 137(용산동6가 168-6)

대표전화 02-2077-9000

© National Museum of Korea.

